

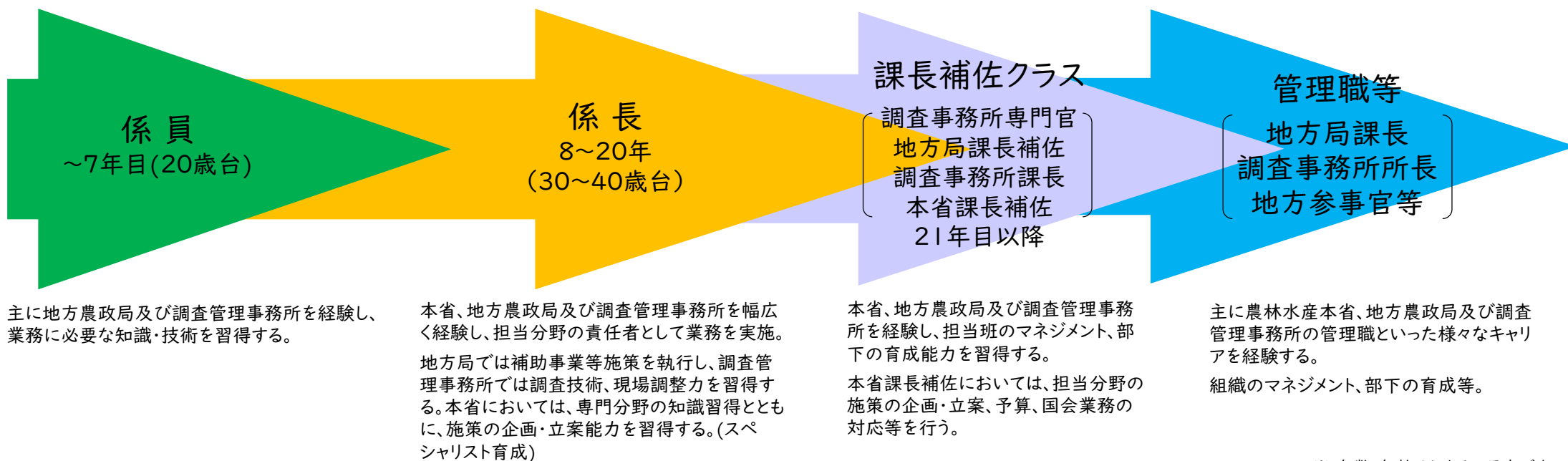
キャリアパスとワークライフバランスの取組

キャリアパスと研修制度

○ 調査計画職員として採用されると、地方農政局を中心に、調査管理事務所や農林水産本省などをおおむね2, 3年のサイクルで異動することで、政策の立案から現場での実行までの一連の業務を経験します。

本省では農村振興局を中心に大臣官房等他局のほか、時には他省庁や在外公館など、様々な場で多様な業務に携わります。

○ 充実したOJT（On-the-Job Training）のほか、職員の資質向上と職務上必要な知識や技術の習得を目的として、様々な研修を用意しています。



※ 年数、年齢はおよその目安です。

【研修の例】

階層別
研修

初任者研修

係長養成研修

係長フォローアップ研修

課長補佐等養成研修

課長補佐
フォローアップ研修

管理職研修

実務研修

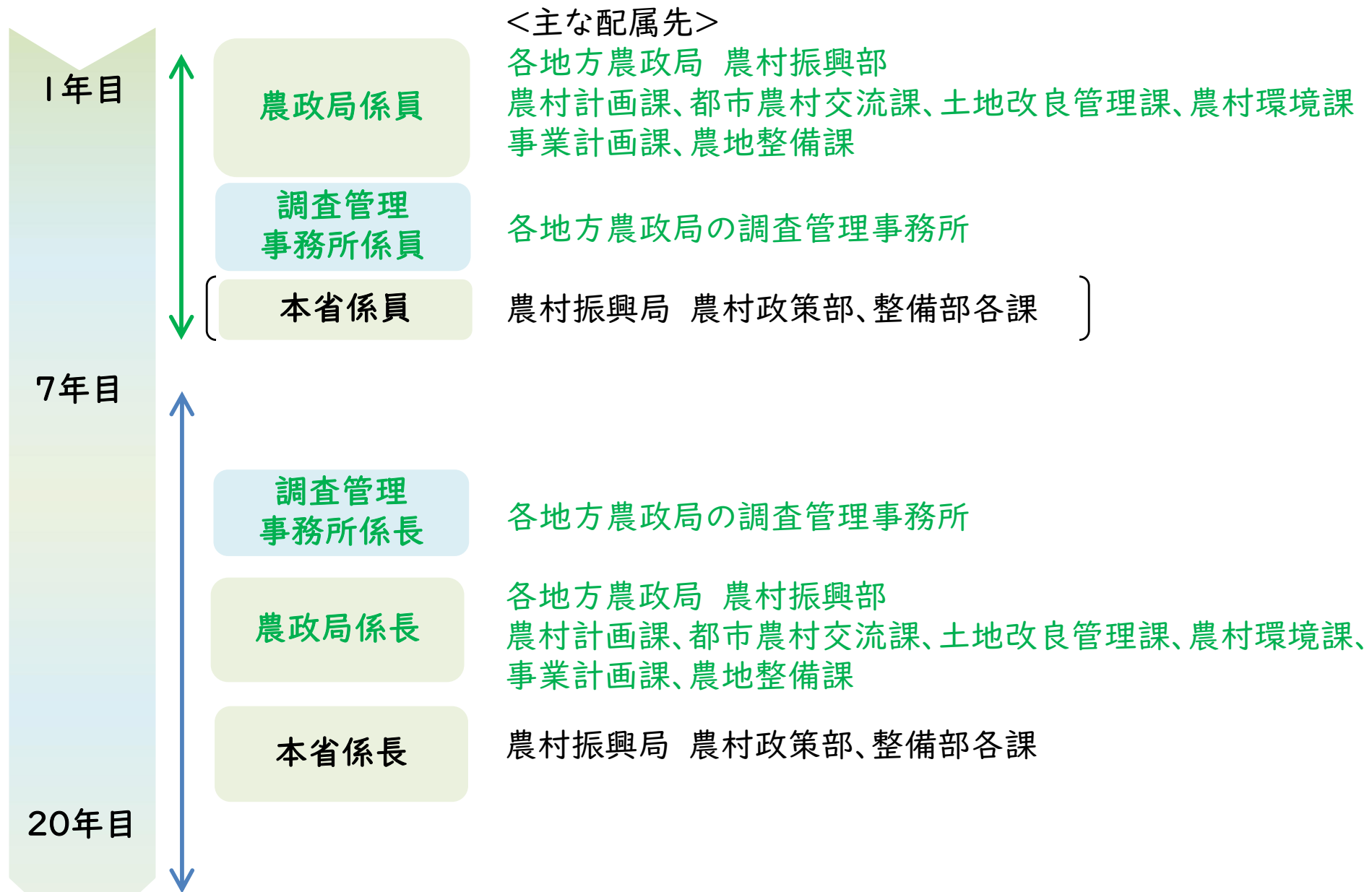
地域農業開発計画研修

農村工学専門技術研修(経済効果Ⅰ,Ⅱ)

環境保全研修(環境省)

農作物鳥獣被害防止対策研修

調査計画系職員のキャリアパスの例



その後は、調査管理事務所の専門官、課長、地方農政局の課長補佐、農林水産省本省の課長補佐、地方農政局の管理職や調査管理事務所の幹部といったキャリアを経験することとなります。

■給与・手当

給 与

一般職試験（大卒程度試験）採用者220,000円（令和7年4月1日時点）

※令和8年度は、232,000円に見直し予定

※この額に、下記の手当が加算されます。

諸 手 当

主な諸手当は以下のとおりです。

- ・扶養手当（配偶者3,000円、子（22歳以下）11,500円（15歳から22歳の間は5,000円加算））

※令和8年度以降は、人事院勧告を受け、配偶者は支給しない、子（22歳以下）13,000円（15歳から22歳の間は5,000円加算）に見直し予定

- ・住居手当（家賃月額に応じて最大28,000円）
- ・通勤手当（原則、通勤定期券の価額で決定）
- ・超過勤務手当（実績に応じて支給）
- ・期末・勤勉手当（ボーナス）（年2回（6月、12月）4.65ヶ月分）
- ・単身赴任手当（100km以上300km未満38,000円、300km以上500km未満46,000円など距離に応じた額）

■勤務時間・休暇

勤務時間

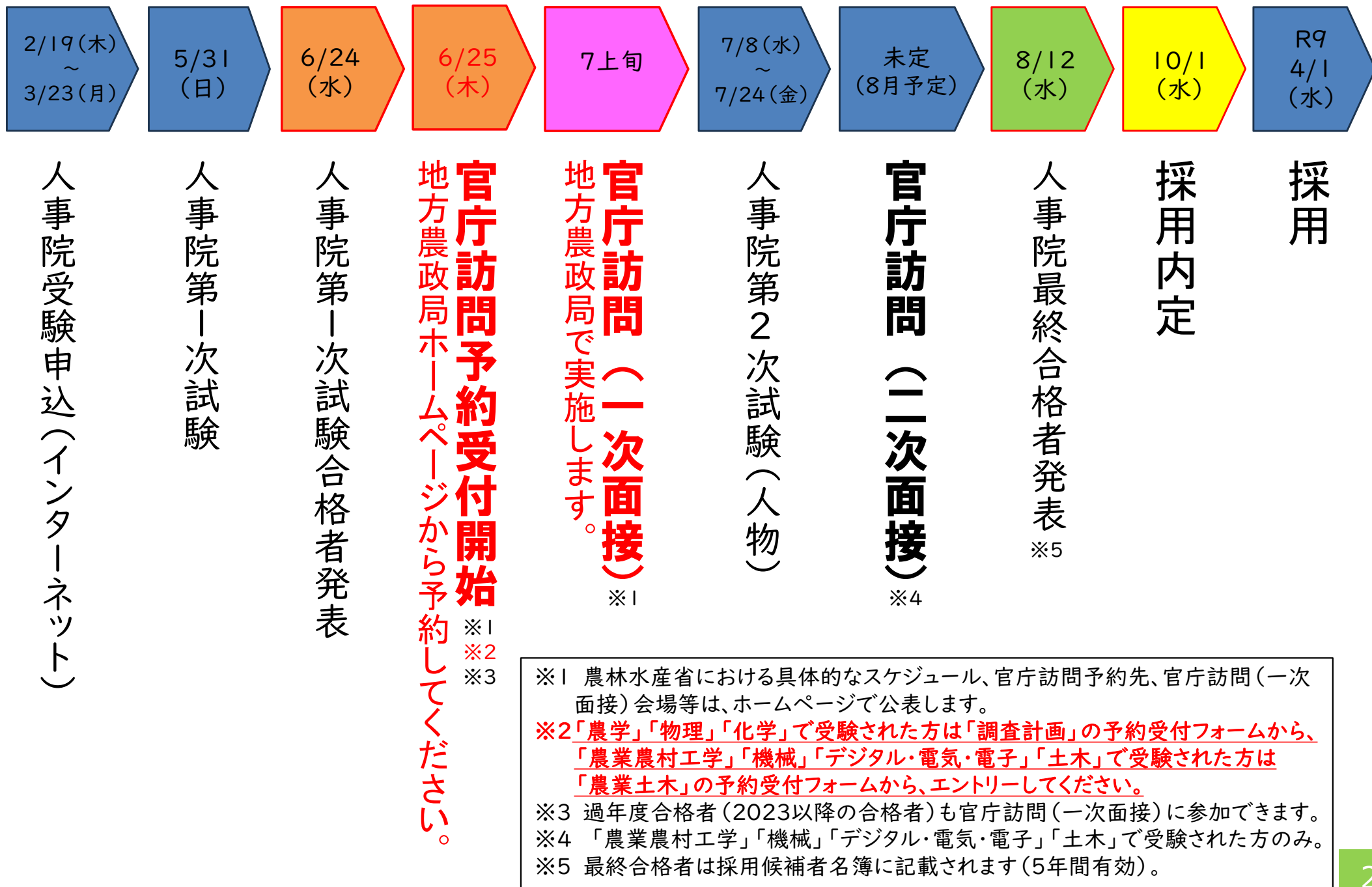
1日7時間45分で、土・日曜日及び祝日等は休みです。

休 暇 等

- ・休暇は、年20日の年次休暇（4月1日採用の場合、採用の年は15日。残日数は20日を限度として翌年に繰越し）のほか、病気休暇、特別休暇（夏季、結婚、出産、忌引、ボランティア等）及び介護休暇等があります。

- ・また、ワーク・ライフ・バランス（仕事と家庭生活の両立）支援制度として、育児休業制度等があります。

2026年度 調査計画系職員の採用の流れ（試験受験者）



(参考) 一般職採用試験(技術系)等の試験区分と採用区分

採用区分 試験区分	農業技術系 〔本省 一括採用〕	農業土木・ 調査計画系 (農政局採用)		植物防疫所 植物防疫所 採用	統計部IT系 (本省採用)	畜産系 (本省採用)	林野庁 (林野庁採用)	水産工学系 (水産庁採用)
	・農業食料全般 ・スマート農業 ・食品安全	・農業農村整備 ・農村地域づくり		・国際・国内検疫 ・調査研究	・情報セキュリ ティ、デジタル化 ・統計	・畜産振興 ・畜舎等の建築	・森林・林業全般	・水産全般 ・水産技術
		農業土木	調査計画					
農学	○		○	○	○	※別途 畜産系技術職 (一般職相当) 有り		
化学	○		○	○	○			
物理	○		○					○
デジタル・ 電気・電子	○	○	○※1		○		○	○
機械	○	○	○※1				○	○
農業農村 工学		○	○※1					
土木		○	○※1				○	○
林学				○			○	
建築						○	○	○

※1 官庁訪問は、「農業農村工学」「機械」「デジタル・電気・電子」「土木」で受験された方は、
「農業土木」の予約受付フォームからエントリーしてください。